

令和4年度第1回大田区障がい者施策推進会議 書面参加者意見一覧

番号	議題（1） おおた障がい施策推進プランのモニタリング指標の進行管理について	回答
1	<p>1-3 社会参加・社会活動の充実 意見： 前年度比281.6%、670万以上の実績は、いい評価のできる実績と考えるが前年度がコロナ禍の状況もあるのではあるか？ いずれにしても状況を分析して、「おおむすび」を拡大していただきたい。 社協も側面支援など大いに協力いたします。</p>	<p>今後も「おおむすび」拡大に向けた取組を関係部署と連携の上、進めて参ります。</p>
2	<p>1-4 保健・医療の充実 意見： 2022年1月誕生した、診療所と医療的ケアを含む方々のグループホームとお聞きしています。 利用者や家族の願いがこもった新しいグループホームあり、理念や運営上の工夫があるかと推察しています。今後推進会議等でもお話しをお聞きできればと思います。</p>	<p>医療的ケア児・者関係機関会議等も活用し、グループホーム等の運営状況について、共有いたします。</p>
3	<p>2-1 相談体制の充実 意見： 「相談機関の連携強化」や「他機関連携が必要なケース」については、来年度から本格実施される「重層的体制整備事業」との一貫した実施や支援の整合性が重要と思われます。例示されている課題などについて、特に「官・民・公」の協働が重要と思います。</p>	<p>課題解決に向け、「官・民・公」連携のもと、相談体制の整備を進めて参ります。</p>

4	<p>3-2 権利を守るまちの実現 意見： 「成年後見の認知度」向上は、社協「おおた成年後見センター」の役割でもあります。現在、国では「第二期成年後見制度等基本計画」が出されました。また、大田区でも「次期：地域福祉計画」とともに「次期：成年後見等利用促進計画」が策定の準備に入っています。</p> <p>成年後見の中核機関である区と社協は「成年後見制度等利用促進協議会」を設置し「権利擁護」のための「地域連携ネットワーク」を立ち上げ、議論を深めているところで、是非、この動きと協調・連動しながら事業を進めいくべきと思います。</p>	引き続き、関係部署連携の上、障がい施策充実のための取組を進めて参ります。
5	グループホームの現在の様子(定員)がわかり、本校保護者との話題として参考にさせていただきます。	今後も地域での暮らしを支えるための支援体制の充実を図って参ります。
6	医療的ケアについて、特別支援学校においても校種を問わず対応しております。コーディネータの役割について、今後、詳しく教えていただき、参考にさせていただきたいと考えております。	医療的ケア児・者関係機関会議等で委員の皆様のご意見を参考にさせていただきながら、引き続き、令和5年度中の設置を目指し、検討を進めます。
7	巡回相談について、今後も支援充実に向けて、協力させていただきます。	引き続き、関係部署連携の上、障がい児支援の充実に努めて参ります。
8	ヘルプカードは、本校の児童、生徒も活用しております。今後も認知度が高まり、相互支援をできると良いです。	引き続き、認知度向上に向けた取組を行って参ります。

	議題（２）大田区障がい者実態調査の実施について	回答
9	質問が詳しくされ、状況を理解しようという内容でした。 本校に通学する児童、生徒では、自身で回答することが難しいケースも多いです。保護者と一緒にチェックをすることになると思います。ぜひ、今回の内容を今後に活かしていただけたらと考えます。	次期計画策定の基礎資料として活用させていただき、更なる支援体制の整備に向けた取組を推進して参ります。
	その他	回答
10	蒲田歯科医師会としましては、令和4年度障がい者施設への歯科相談として、民間施設14件、区の施設7件を行う予定です。	引き続き障がいのある方の健康維持に関する取組へのご協力をよろしく願いいたします。

※書面参加者意見につきましては、原文をそのまま引用しております。